



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社新潟放送 上場取引所 東  
 コード番号 9408 URL https://www.ohbsn.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 隆夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 宮腰 尊史 TEL 025-267-4111  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,810	6.3	493	△2.2	559	△2.1	299	4.8
2022年3月期第2四半期	9,230	11.6	504	454.0	571	304.2	286	97.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 267百万円 (25.3%) 2022年3月期第2四半期 213百万円 (△29.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	49.99	—
2022年3月期第2四半期	47.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	25,662	20,640	70.5	3,013.94
2022年3月期	26,295	20,274	67.7	2,966.94

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 18,080百万円 2022年3月期 17,798百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2023年3月期	—	5.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当3円75銭 記念配当1円25銭

2023年3月期期末配当金の内訳（予想） 普通配当3円75銭 記念配当1円25銭

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,829	△5.8	983	△26.8	1,067	△26.0	472	△42.3	78.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、 除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	6,000,000株	2022年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,102株	2022年3月期	1,102株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	5,998,898株	2022年3月期2Q	5,998,898株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 2023年3月期の個別業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,755	△0.3	255	△33.7	105	△70.3	17.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

\* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更に関する注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(会計上の見積りの変更) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
3. その他 .....	12
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	12
4. (参考) 個別業績の概要 .....	13
(1) 個別経営成績 .....	13
(2) 個別財政状態 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動への影響が長期化する中、ワクチンの普及や政府による経済対策の効果により、経済活動は緩やかに持ち直しの動きを見せました。しかしながら、ウクライナ危機によるエネルギー価格の高騰、急激な円安の進行による物価高などから、経済の先行きは依然として不透明な状況であります。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、各事業部門において積極的な営業活動とサービスの提供に努めた結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は98億1千万円（前年同期比106.3%）となり、前年同期に比べ5億8千万円の増収となりました。

また、利益面におきましては、営業利益は4億9千3百万円（前年同期比97.8%）、経常利益は5億5千9百万円（前年同期比97.9%）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益では2億9千9百万円（前年同期比104.8%）となりました。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

#### [放送事業]

放送事業におきましては、ラジオ収入は、スポンサーの出稿減はあったものの新規スポンサー獲得に力を入れ、前期を上回りました。また、テレビ収入は、経済情勢の不安定化によるスポット広告の落ち込みがあり、前期には及びませんでした。その他の収入においては、スポーツイベント、コンサートなど開局70周年記念事業を展開したことで、前期の収入を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は28億7千9百万円（前年同期比103.8%）となり、営業利益は7千6百万円（前年同期比210.6%）となりました。

#### [システム関連事業]

システム関連事業におきましては、公共案件や首都圏開発などが順調に推移しました。また、当四半期連結累計期間より、重要な子会社として、システム関連事業に1社追加となった事で売上高は増収となりました。しかしながら、前期にあった利益率の高い大型案件を補えなかった事や、コロナウイルス感染の落ち着きに伴いWeb提案だけではなく、リアルでのフェア開催などハイブリッドによる積極的な営業活動を行った事により経費も増加し、減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は64億6千7百万円（前年同期比107.2%）、営業利益は4億5百万円（前年同期比88.4%）となりました。

#### [建物サービスその他事業]

建物サービスその他事業におきましては、管理部門の不動産収入では新たな収益物件取得による増収要因はありましたが、労働者派遣業務の減員により減収となりました。また、施設管理部門では、新たに病院の設備管理業務を受託して増収となりました。利益面では、工事資材の高騰などによる仕入原価の増加はありましたが、社内コストの削減に努めたことで増益となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は7億3千2百万円（前年同期比104.9%）となり、営業利益では1千1百万円（前年同期比120.2%）となりました。

### （2）財政状態に関する分析

#### （財政状態の分析）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は256億6千2百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億3千3万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産が131億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億1千8百万円減少しております。これは主に棚卸資産が7億1千1百万円、その他の流動資産が2億4千3百万円増加したものの、現金及び預金が4億7千8百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が8億9千6百万円減少したことによります。固定資産では、125億2千万円となり、前連結会計年度末に比べて2億1千4百万円の減少となりました。これは有形固定資産が1千6百万円、無形固定資産が3千4百万円、投資その他の資産が1億6千3百万円減少したことによります。

負債の部では、流動負債が39億4百万円となり、前連結会計年度末に比べて10億2千2百万円減少しております。これは主に、賞与引当金が1億9千2百万円増加したものの、未払金が5億4千8百万円、未払法人税等が1億8千3百万円、その他の流動負債が3億4千4百万円減少したことなどによります。固定負債は11億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べて2千2百万円の増加となりました。これは主にリース債務が1億4千4百万円、繰延税金負債が5千7百万円減少したものの、長期借入金が1億4千9百万円、退職給付に係る負債が5千8百万円増加したことなどによります。

純資産の部では、利益剰余金の増加4億1千1百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億1千7百万円、退職給付に係る調整累計額の減少1千2百万円、非支配株主持分の増加8千4百万円により206億4千万円となり、前連

結会計年度末に比べて3億6千6百万円増加いたしました。以上の結果、自己資本比率は70.5%となり、前連結会計年度末に比べて2.8ポイントの増加となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ6億9千1百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末には78億8千7百万円となりました。当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（イ）営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得た資金は4千5百万円となりました。主な要因といたしましては、棚卸資産の増加7億1千万円、その他の資産の増加2億2千5百万円、その他の負債の減少8億8千8百万円、法人税等の支払額3億9百万円などによるキャッシュ・アウトはありましたが、売上債権の減少10億7千9百万円、税金等調整前四半期純利益5億5千7百万円、減価償却費4億2千1百万円などのキャッシュ・インによるものであります。

（ロ）投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は6億3千9百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入9千6百万円などによるキャッシュ・インはありましたが、有形固定資産の取得による支出5億3千9百万円、無形固定資産の取得による支出5千4百万円、投資有価証券の取得による支出1億3千6百万円などのキャッシュ・アウトによるものであります。

（ハ）財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は9千8百万円となりました。これは主に、長期借入による収入1億7千万円はありましたが、長期借入金の返済による支出1千3百万円、リース債務の返済による支出2億1千1百万円、配当金の支払2千9百万円、非支配株主に対する配当金の支払1千2百万円のキャッシュ・アウトによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、急速に進行した円安による物価上昇など、景気の先行きは不透明な状況となっております。2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。今後、業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示するものであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,628,973	8,150,075
受取手形、売掛金及び契約資産	3,723,840	2,826,903
商品	157,962	477,264
原材料	15,208	43,591
仕掛品	254,553	618,537
その他の流動資産	787,061	1,031,038
貸倒引当金	△6,328	△5,137
流動資産合計	13,561,271	13,142,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,462,566	2,613,408
機械装置及び運搬具（純額）	607,653	697,989
土地	2,442,652	2,527,699
リース資産（純額）	846,578	696,693
その他（純額）	291,263	98,078
有形固定資産合計	6,650,715	6,633,868
無形固定資産	389,960	355,846
投資その他の資産		
投資有価証券	3,201,671	3,023,870
退職給付に係る資産	1,920,460	1,921,566
その他の投資及びその他の資産	597,757	611,259
貸倒引当金	△25,864	△25,864
投資その他の資産合計	5,694,025	5,530,830
固定資産合計	12,734,701	12,520,546
資産合計	26,295,972	25,662,819

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	2,671,214	2,122,925
短期借入金	360,800	367,000
リース債務	401,078	367,755
未払法人税等	336,859	153,513
未払消費税等	155,609	106,765
賞与引当金	338,036	530,309
役員賞与引当金	21,500	—
その他の引当金	51,025	9,800
その他の流動負債	591,013	246,849
流動負債合計	4,927,136	3,904,918
固定負債		
長期借入金	3,100	153,000
役員退職慰労引当金	94,318	110,451
退職給付に係る負債	184,510	242,867
リース債務	685,247	540,690
繰延税金負債	98,345	41,062
その他の固定負債	29,159	28,994
固定負債合計	1,094,680	1,117,065
負債合計	6,021,816	5,021,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	17,182,696	17,594,078
自己株式	△805	△805
株主資本合計	17,487,642	17,899,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	244,209	126,869
退職給付に係る調整累計額	66,507	54,451
その他の包括利益累計額合計	310,717	181,320
非支配株主持分	2,475,795	2,560,490
純資産合計	20,274,155	20,640,835
負債純資産合計	26,295,972	25,662,819



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,230,188	9,810,894
売上原価	6,529,646	6,997,512
売上総利益	2,700,542	2,813,382
販売費及び一般管理費	2,195,713	2,319,603
営業利益	504,828	493,778
営業外収益		
受取利息	3,147	3,582
受取配当金	47,126	41,879
受取賃貸料	5,023	5,775
有価証券売却益	163	189
その他	18,053	20,649
営業外収益合計	73,514	72,076
営業外費用		
支払利息	5,295	4,864
その他	1,618	1,672
営業外費用合計	6,913	6,537
経常利益	571,429	559,317
特別利益		
固定資産売却益	0	17
投資有価証券売却益	—	3,586
特別利益合計	0	3,604
特別損失		
固定資産除却損	1,016	1,932
固定資産売却損	—	910
投資有価証券売却損	—	600
投資有価証券評価損	1,893	1,743
特別損失合計	2,910	5,186
税金等調整前四半期純利益	568,519	557,734
法人税等	170,992	160,483
四半期純利益	397,526	397,250
非支配株主に帰属する四半期純利益	111,493	97,364
親会社株主に帰属する四半期純利益	286,033	299,886

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	397,526	397,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△171,333	△117,255
退職給付に係る調整額	△12,344	△12,055
その他の包括利益合計	△183,677	△129,311
四半期包括利益	213,849	267,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	102,386	170,489
非支配株主に係る四半期包括利益	111,462	97,449

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	568,519	557,734
減価償却費	408,462	421,183
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△18,500	△41,225
賞与引当金の増減額 (△は減少)	120,357	100,689
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,321	10,150
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,345	△1,190
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△122,985	△18,452
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△16,008	△7,465
受取利息及び受取配当金	△50,273	△45,461
支払利息	5,295	4,864
有価証券売却損益 (△は益)	△163	△189
固定資産除却損	1,016	1,932
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△17
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△2,986
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,893	1,743
売上債権の増減額 (△は増加)	1,524,602	1,079,863
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△369,314	△710,582
その他の資産の増減額 (△は増加)	△9,410	△225,548
仕入債務の増減額 (△は減少)	△426,728	78,196
その他の負債の増減額 (△は減少)	△265,024	△888,104
小計	1,352,713	315,133
利息及び配当金の受取額	50,273	45,461
利息の支払額	△5,293	△5,201
法人税等の支払額	△51,288	△309,525
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,346,405	45,867
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△42,000	△142,000
定期預金の払戻による収入	42,000	142,000
有価証券の売却による収入	163	189
有形固定資産の取得による支出	△191,405	△539,057
有形固定資産の売却による収入	—	974
無形固定資産の取得による支出	△27,330	△54,402
無形固定資産の売却による収入	—	5,416
投資有価証券の取得による支出	△77,958	△136,336
投資有価証券の売却による収入	81,116	96,521
出資金の払込による支出	—	△18,400
長期貸付けによる支出	△5,000	—
差入保証金の差入による支出	△7,852	△2,792
差入保証金の回収による収入	21,750	3,247
その他の支出	△2,200	△29,177
その他の収入	1,962	34,084
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206,754	△639,733

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	170,000
長期借入金の返済による支出	△5,400	△13,900
リース債務の返済による支出	△208,534	△211,461
配当金の支払額	△22,560	△29,955
非支配株主への配当金の支払額	△12,755	△12,755
財務活動によるキャッシュ・フロー	△249,249	△98,071
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	890,401	△691,937
現金及び現金同等物の期首残高	6,641,984	8,376,973
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	202,694
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,532,386	7,887,731

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲または持分法適用の範囲の変更）

（連結の範囲の重要な変更）

当第2四半期連結会計期間より、非連結子会社としていた株式会社エム・エス・シーは、重要性が増したため同社を連結の範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の影響について）

前連結会計年度末に仮定した新型コロナウイルス感染症の影響については、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	システム関連事業	建物サービス その他事業	計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	2,712,859	3,365,153	392,383	6,470,396	—	6,470,396
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	21,767	2,637,788	100,235	2,759,791	—	2,759,791
顧客との契約から生じる収益	2,734,627	6,002,941	492,619	9,230,188	—	9,230,188
外部顧客に対する売上高	2,734,627	6,002,941	492,619	9,230,188	—	9,230,188
セグメント間の内部売上高又は振替高	40,300	28,294	205,471	274,065	△274,065	—
計	2,774,927	6,031,236	698,090	9,504,254	△274,065	9,230,188
セグメント利益	36,514	459,008	9,260	504,783	45	504,828

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	システム関連事業	建物サービス その他事業	計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	2,824,912	2,994,090	400,530	6,219,532	—	6,219,532
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	21,838	3,429,275	140,248	3,591,361	—	3,591,361
顧客との契約から生じる収益	2,846,750	6,423,365	540,778	9,810,894	—	9,810,894
外部顧客に対する売上高	2,846,750	6,423,365	540,778	9,810,894	—	9,810,894
セグメント間の内部売上高又は振替高	33,183	44,596	191,272	269,052	△269,052	—
計	2,879,933	6,467,962	732,050	10,079,946	△269,052	9,810,894
セグメント利益	76,909	405,653	11,127	493,690	87	493,778

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 前連結会計年度末より従来の「情報処理サービス事業」から「システム関連事業」へセグメントの名称を変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

## 4. （参考）個別業績の概要

## (1) 個別経営成績

2023年3月期第2四半期の業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,879	3.8	76	110.6	159	37.9	140	40.5
2022年3月期第2四半期	2,774	16.2	36	—	115	—	100	15.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	23.42	—
2021年3月期第2四半期	16.67	—

## (2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
2023年3月期第2四半期	13,535	12,384
2022年3月期	13,942	12,391